

CTI REPORT

第64期 中間報告書
2026年1月1日～2026年6月30日

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループの経営に格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、当中間連結会計期間の当社グループ全体の受注高、売上高は順調に推移しております。国内建設コンサルティング事業は、国の公共事業関係費予算が前年を上回り、受注高・売上高ともに順調に推移しており、海外建設コンサルティング事業は、英国での公共事業関係費の執行が進捗し始め、売上高は前年を上回っております。

今回のCTIレポートでは『統合報告書 2026』の見どころをご紹介します。「中期経営計画 2027」の1年目を振り返り、事業戦略、人材戦略、DX推進、サステナビリティなどの幅広いテーマ、震災復興支援の特集やキャリア採用社員による座談会などの社員の活躍や想いにも焦点を当てています。

当社は、今後も社会課題解決と企業価値向上の両立を目指しながら、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、皆様への積極的な情報開示に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長執行役員

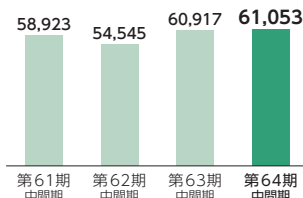
西村 達也

決算ハイライト

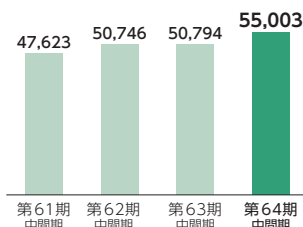
受注高は前年並み、売上高は前年好調だった受注を背景に、業務の順調な進捗により前年同期を上回りました。営業利益は上半期を通じて原価率の改善が進み、前年同期を上回る利益水準を確保するとともに、通期計画に対しても順調に進捗しました。

単位：百万円

受注高

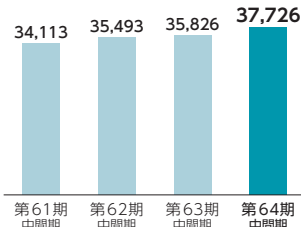


売上高

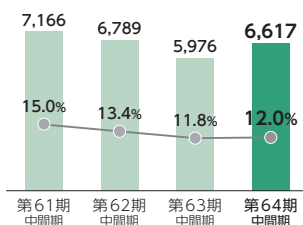


売上高

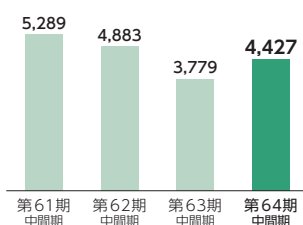
国内建設
コンサルティング事業



営業利益 ● 営業利益率

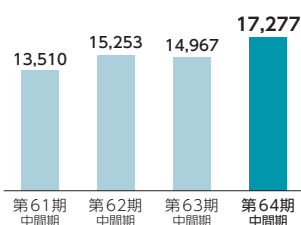


親会社株主に帰属する中間純利益



売上高

海外建設
コンサルティング事業



CTI グループの価値創出ストーリー



社長メッセージ

中期経営計画 2027 の進捗と課題を振り返るとともに、人材・DX・サステナビリティへの投資を通じた企業価値向上への取り組みや、将来に向けた成長戦略について、代表取締役社長執行役員の西村によるメッセージを掲載しています。

→ P12~

CTI グループの価値創出ストーリー

サステナビリティ事業 ~ CTI アセンドの取り組み ~

遊休農地や未利用資源に新たな価値を生み出し、地域循環型の事業を展開する CTI アセンド。福島県相馬市から始まった挑戦は、ウイスキーの販売開始という新たなステージを迎え、地域復興と資源循環の両立に向けた取り組みとして、SDGs の実践面でも高く評価されています。

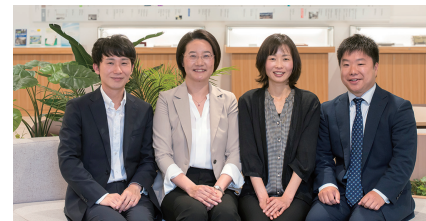


→ P26

CTI グループの価値創出ストーリー

キャリア採用者座談会

多様な専門性と経験を持つ人材が集い、一人ひとりの知見が組織の総合力へとつながる CTI グループ。キャリア採用で入社した社員が、当社の文化や強み、働きがいとともに、社会課題と向き合い、その解決に挑戦することの意義について語っています。



→ P22~

CTI グループの価値創出ストーリー

災害からの復興を支え続ける技術力

東日本大震災や熊本地震でも発揮された建設コンサルタントの技術力。迅速な被害把握から復興計画の立案、インフラ再生まで、高度な専門技術で社会課題の解決に挑み続けています。その使命と実績を振り返るとともに、当時、最前線に対応にあたった担当者たちの声を掲載しています。



→ P29~

建設技術研究所

『統合報告書 2026』の見どころ

当社は、価値創造に向けた取り組みや成長戦略をお伝えするコミュニケーションツールとして、毎年統合報告書を発行しています。統合報告書 2026 では、中期経営計画 2027 の1年目を振り返り、中長期的な価値創出に向けた取り組みとその成果・課題を紹介しています。経営戦略や事業活動の進捗に加え、人材、技術、ガバナンスなど価値創出の基盤について、財務・非財務の両面からお伝えするとともに、今後の成長に向けた方向性を示しています。

● 統合報告書 2026 をぜひ、ご覧ください。



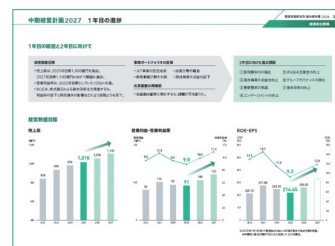
https://www.ctie.co.jp/ir/financial/togo/uploads/2026/08/2026_browse.pdf

価値創出戦略

中期経営計画 2027 1 年目の進捗

CTI グループは、中長期ビジョン「SPRONG 2030」の実現に向け、「中期経営計画 2027」を推進しています。本特集では、計画初年度における経営数値目標の達成状況や、同計画の2つの柱である「事業ポートフォリオの変革」と「成長基盤の再構築」の進捗について総括するとともに、顕在化した課題と2年目に向けた重点施策を整理しています。

→ P34~



価値創出戦略

事業別戦略

各事業部門担当役員および海外事業を担うグループ会社の代表取締役社長より、現在の事業環境や取り組み状況に加え、中長期的な成長に向けた戦略の方向性について詳述しています。



→ P39~

成長を支える基盤

対談：グローバル連携の深化と価値創出に向けて

Waterman Group Plc との協業により、グローバル人材の育成と新たな価値創出が加速しています。人材交流や共同プロジェクトを通じて生まれた成果と見てきた課題を踏まえ、グローバル市場でさらなる成長を実現するための取り組みと展望を語っています。

→ P68~



成長を支える基盤

社外取締役メッセージ

独立社外取締役ならではの客観的かつ専門的な視点から、取締役会や各委員会の実効性向上に向けた取り組みや今後の課題について語っています。

→ P75~



「統合報告書 2026」の

INDEX

イントロダクション

CTI グループの価値創出ストーリー

社長メッセージ
価値創出ストーリープロセス
経営資本の活用 CTIグループの強み
キャリア採用者座談会
サステナビリティ経営
価値創出に向けたマテリアリティ
災害からの復興を支え続ける技術力

価値創出戦略

CTIグループ中長期ビジョンSPRONG 2030
中期経営計画2027 全体像
中期経営計画2027 1年目の進捗
事業別戦略 国内建設コンサルティング事業
事業別戦略 海外建設コンサルティング事業
経営戦略 企画・営業本部長メッセージ
投資ガバナンス
人材戦略 管理本部長メッセージ
DX推進

成長を支える基盤

CTIグループ・サステナブルチャレンジ
人材の充実とウェルビーイングの実現
人材マネジメント
対談：
グローバル連携の深化と価値創出に向けて
コーポレートガバナンス
コンプライアンス / 情報セキュリティ
リスクマネジメント
役員一覧

財務・会社情報

期末配当予想の修正・自己株式の取得を公表しました

期末配当予想の修正

株主還元強化策として、期末配当予想を 78 円から 110 円へ修正（32 円増配）するとともに、30 億円の自己株式取得を実施しました。

78円→110円

1 株あたり配当金
(円)*

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
1 株あたり配当金 (円)*	17.5	22.5	30.0	50.0	75.0	75.0	75.0	110.0	
配当性向 (%)	17.6	17.4	19.0	24.1	27.7	30.9	35.0	42.7	—
EPS (円)*	99.30	129.08	158.13	207.75	271.06	243.10	214.45	257.41	—

* 2025 年 1 月 1 日付けで株式分割（1 対 2）を実施。各年期首に株式分割が行われたと仮定し、配当金・EPS を算定。

自己株式の取得

30 億円

取得期間	取得上限株式数 (千株)	取得上限金額 (億円)	取得方法
2026年8月14日～ 2027年4月30日	1,200	30	市場買付

日本証券新聞 1 面に
当社記事が掲載されました

国土強靱化やインフラ老朽化対策への期待を背景に、当社の事業基盤と成長性が評価されました。



出典：日本証券新聞（2026 年 6 月 24 日付）

● 詳細はこちらをご覧ください。



会社の概要

設立 1963 年 4 月
商号 株式会社建設技術研究所
(英文社名：CTI Engineering Co., Ltd.)
本店所在地 東京都中央区日本橋浜町 3 - 21 - 1
資本金 3,025,875,010 円

役員の状況 (2026.6.30 現在)

取締役会長	中村 哲己
代表取締役社長執行役員	西村 達也
代表取締役専務執行役員	鈴木 直人
取締役常務執行役員	藤原 直樹
取締役常務執行役員	松岡 利一
取締役常務執行役員	江守 昌弘
取締役常務執行役員	天野 光歩
社外取締役	小棹 ふみ子
社外取締役	園部 芳久
社外取締役	小笠原 敦子
社外取締役	桑野 徹
常勤監査役	立山 晃
監査役	見附 敬三
社外監査役	田中 康郎
社外監査役	石川 剛

株式情報 (2026.6.30 現在)

- 発行可能株式総数 80,000,000 株
- 発行済株式の総数 28,318,172 株
- 株主数 4,439 名（うち、議決権あり株主数 3,339 名）
- 大株主（上位 10 名）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,824	10.3
有限会社光パワー	2,793	10.2
建設技術研究所従業員持株会	2,229	8.2
重田康光	793	2.9
株式会社三菱 UFJ 銀行	743	2.7
三菱 UFJ 信託銀行株式会社	708	2.6
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	643	2.4
住友生命保険相互会社	600	2.2
第一生命保険株式会社	538	2.0
高橋豊	484	1.8

(注) 当社の保有している自己株式 980,523 株は、上記の表に含んでおりません。

株主メモ

事業年度	1 月 1 日から 12 月 31 日まで
定時株主総会	毎年 3 月
基準日	
定時株主総会	12 月 31 日
期末配当金	12 月 31 日
中間配当を行う場合	6 月 30 日
公告の方法	電子公告の方法によります。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載 URL https://www.ctie.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 5 号 三菱 UFJ 信託銀行株式会社証券代行部
同連絡先	三菱 UFJ 信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120 - 232 - 711 (通話料無料) 郵送先 〒137 - 8081 新東京郵便局私書箱第 29 号 三菱 UFJ 信託銀行株式会社証券代行部
手数料	無料

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱 UFJ 信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱 UFJ 信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱 UFJ 信託銀行）にお問合せください。なお、三菱 UFJ 信託銀行全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱 UFJ 信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 株主様のお名前などに株式会社証券保管振替機構で指定されていない文字が含まれる場合は、通知物のあて名の一部または全部が同社の指定する文字に置き換えられることがありますので、あらかじめご了承ください。